



## 第1回

# 観たいのに観れなかった映画賞

～いやあ、時間がなくて～

## 投票結果報告書

2023年3月20日(月)

### ◆開催概要

映画賞主催団体: NPO法人映画業界で働く女性を守る会(swfi)

映画賞タイトル: 観たいのに観れなかった映画賞～いやあ、時間がなくて～

投票資格: 映画、ドラマ、TV番組全般(現場、仕上げ、配給、宣伝等すべて)に携わる仕事をしている  
性自認が女性の方(スタッフ、出演者含む)。年齢問わず。

投票手法: インターネット投票(Googleフォーム)

2022年1月1日～12月31日に公開された日本映画(実写・アニメーション)から「劇場で観た  
かったのに観れなかった映画」を選択して投票(複数回答可)

投票期間: 2023年2月4日～2月19日

設問数: 全6問 回答時間平均3～6分 投票数: 62名

SNSハッシュタグ: #MME賞 #映像業界で働く女性で作る映画賞

### ◆映画賞開催の背景

毎年、国外問わずさまざまな映画祭、映画賞が開催されますが、映画やドラマの制作に携わる人にとっては、日々の業務で忙しく、当事者意識を持っていない場合が多い現状があります。映画が好きで、映像業界に入ったのに、そういった楽しみであるはずの映画祭、映画賞を当事者として関わるすることができない。この映画賞は、「映画やテレビ等、映像制作に携わる仕事をしている女性が当事者になれる、楽しめる映画賞を作りたい」という思いで、今までなかった「映像業界で働く当事者たちで作る映画賞」として企画しました。

また、昨今の映画賞の受賞者や審査員のジェンダーバランス調査では、女性の割合が少ないと指摘されていたりしますが、そういった調査結果について、そもそも調査自体について、現場の最前線にいる女性スタッフ、キャストへは情報が行き届かない現状があります。

そこで、swfiでは日々の業務で忙しく、劇場に映画を観に行く時間がない女性たちが当事者になれる映画賞として、「観たいのに観れなかった映画賞」を開催いたしました。

映画が好きで業界に入ったのに、休みもなく映画をみに行く時間、気力もない、という状況に陥っているのは、健全なことなのか?という疑問を改めて一人一人に考えてもらうきっかけになれば、そしてその意識が、一人一人の労働環境の改善につながればと考えます。

この映画賞を開催することが、少しずつ意識や環境の改善に繋がり、映像業界で働く人が、観たい映画を何本でも映画館で観れるような労働環境へと変わる未来を目指して、この『観たいのに観れなかった映画賞』がなくなることを目標としています。

(観たいのに劇場に観に行けなかった悔しさを表すため、協議の結果「ら」ぬき言葉である「観れなかった」を使用しています。)

◆以下結果発表ページより、この映画賞に関わる資料がダウンロードが可能です。

<https://swfi-jp.org/posts/news/1stmmeawards-result/> ※3/20公開予定

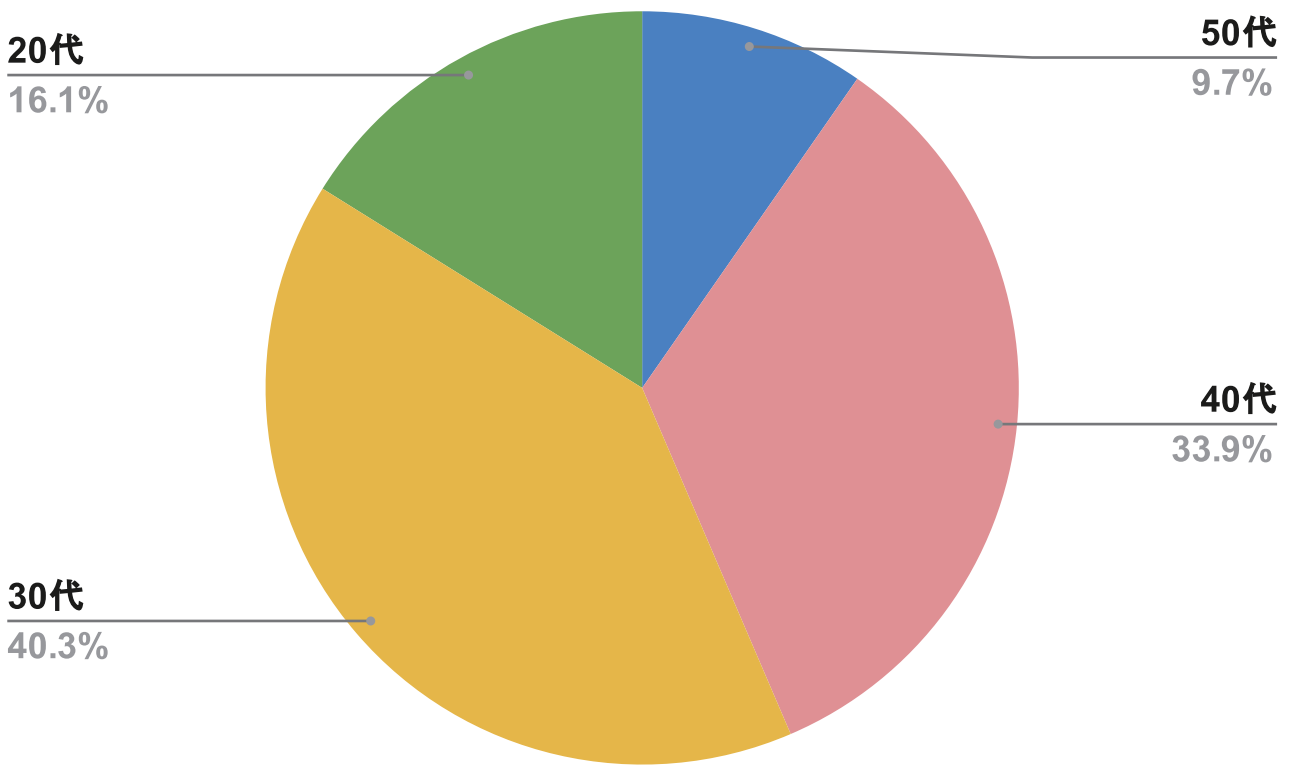
「観たいのに観れなかった映画賞」リリースページ

<https://swfi-jp.org/posts/news/1stmmeawards/>

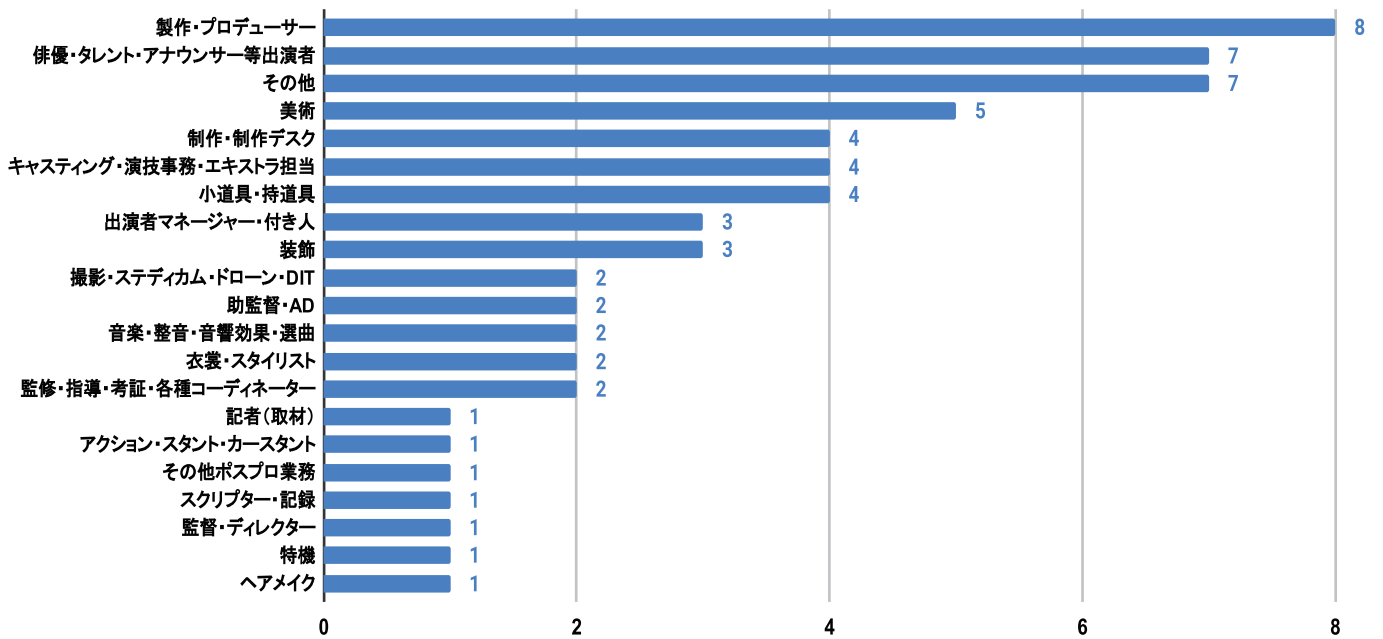


◆投票結果

Q1. あなたの年齢をお答えください。



Q2.あなたが担当している部署・職種をお答えください。

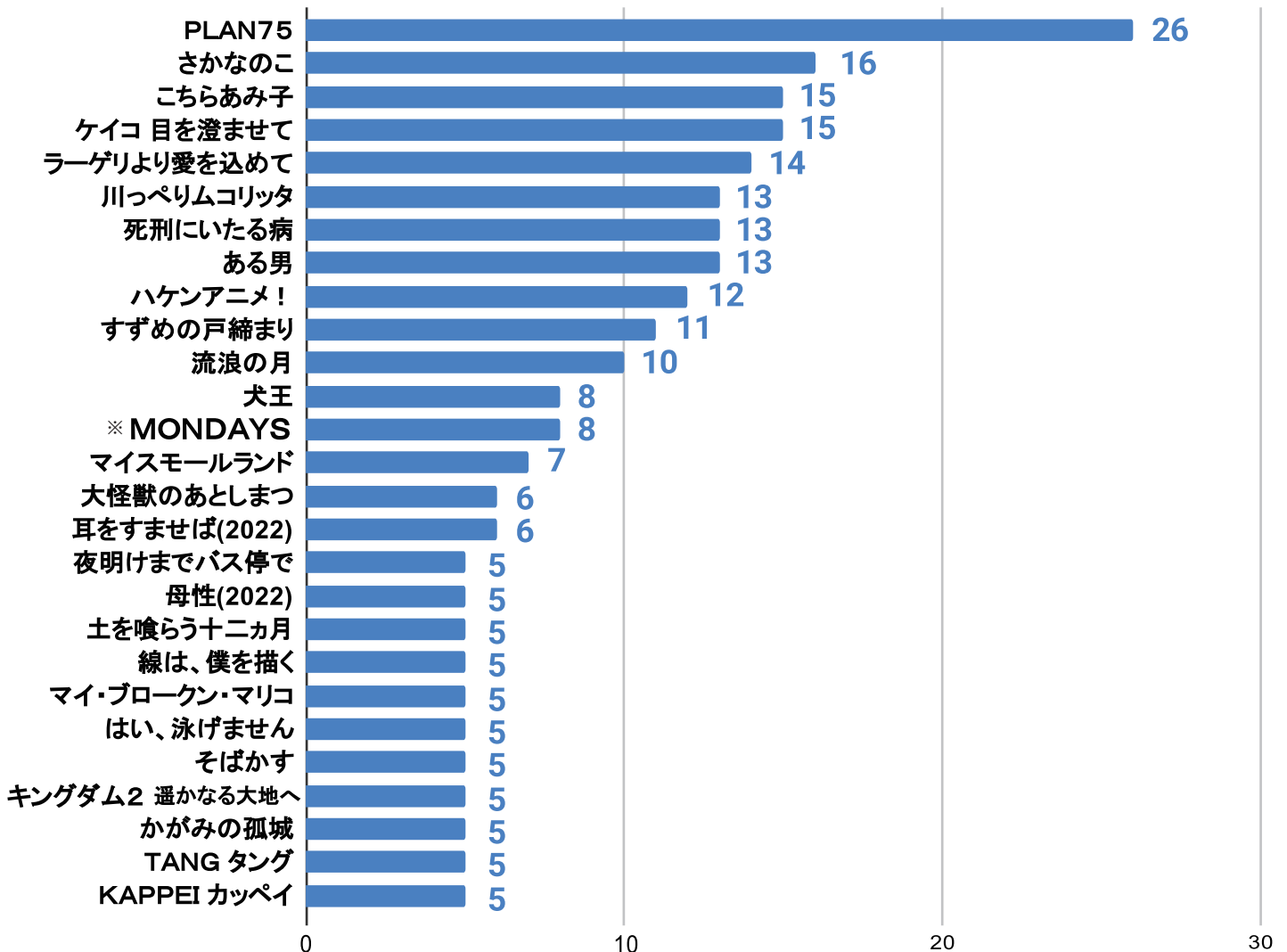


その他の一例: 上映関連

Q3.2022年劇場公開された日本映画で劇場で観たかったのに観れなかった映画を下記644作品の中から選んでください。(複数回答可)

2022年1月1日～12月31日に公開された日本映画644本のリストのうち、197本に投票あり。

### 5票以上獲得作品グラフ



※MONDAYS→正式タイトル「MONDAYS このタイムループ、上司に気づかせないと終わらない」

### 4票

「恋は光」/「余命10年」/「千夜、一夜」/「神は見返りを求める」/「餓鬼が笑う」/「ビリーバーズ(2022)」/「カラダ探し」/「あした、授業参観いくから。」/「Dr. コトー診療所」

### 3票

「夜、鳥たちが啼く」/「麻希のいる世界」/「誰かの花」/「窓辺にて」/「春原さんのうた」/「鹿の王 ユナと約束の旅」/「今夜、世界からこの恋が消えても」/「犬も食わねどチャーリーは笑う」/「極主夫道 ザ・シネマ」/「教育と愛国」/「ぼけますから、よろしくお願ひします。おかえり お母さん」/「ぜんぶ、ボクのせい」/「シン・ウルトラマン」/「サバカン SABAKAN」/「さがす」/「コンフィデンスマンJP 英雄編」/「この子は邪悪」/「オカルトの森へようこそ THE MOVIE」/「ある職場」/「THE FIRST SLAM DUNK」

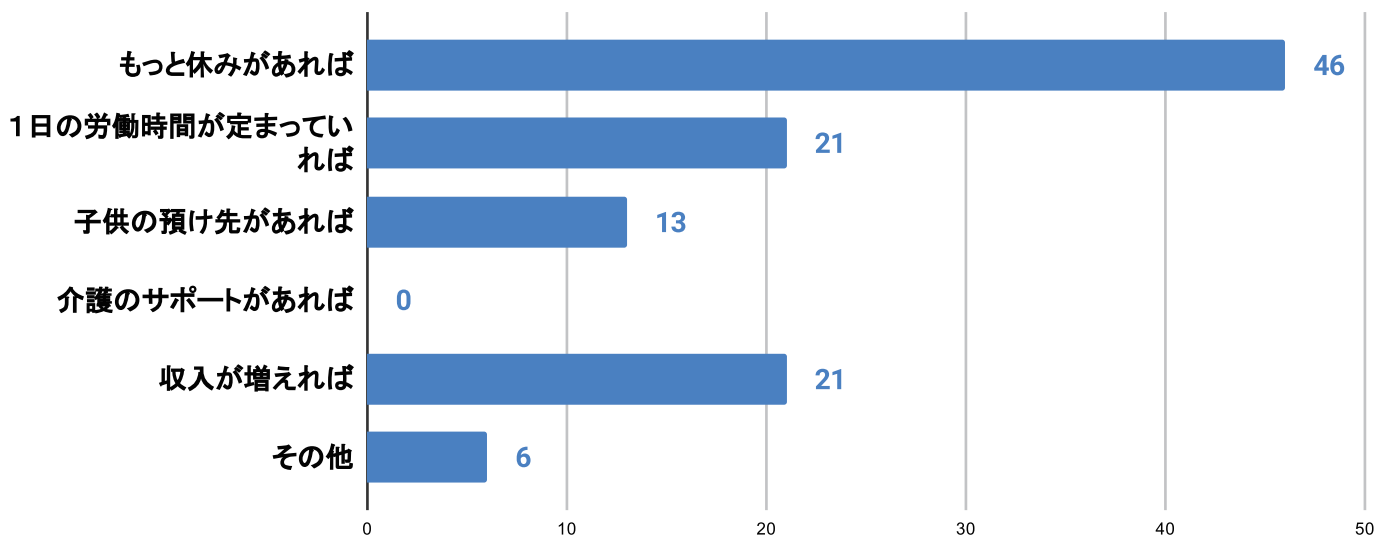
### 2票

「裸足で鳴らしてみせろ」/「百花」/「帆花」/「猫は逃げた」/「東京2020オリンピック SIDE:B」/「東京2020オリンピック SIDE:A」/「天上の花」/「天間荘の三姉妹」/「辻占恋慕」/「退屈なかもめたち パート1 & 2」/「生きててよかった」/「親密な他人」/「重力の光: 祈りの記録篇」/「四畳半タイムマシンブルース」/「三度目の、正直」/「月の満ち欠け」/「牛首村」/「機動戦士ガンダム ククルス・ドアン of the 島」/「怪盗クイーンはサーカスが好き」/「映画さんねんないきもの事典」/「映画 オッドタクシー イン・ザ・ウッズ」/「浦安魚市場のこと」/「リング・ワンダリング」/「よだかの片想い」/「やまぶき」/「もっと超越した所へ。」/「メタモルフォーゼの縁側」/「ミュージズは溺れない」/「マイライフ、ママライフ」/「ブラックナイトパレード」/「フタリノセカイ」/「はだかのゆめ」/「ハウ」/「ノイズ(2022)」/「とら男」/「ドーナツもり」/「ツーアウトフルベース」/「シネマスコーレを解剖する。コロナなんかぶっ飛ばせ」/「グッバイ・クルエル・ワールド」/「グッドバイ、バッドマガジズ」/「きさらぎ駅」/「あちらにいる鬼」/「アイ・アム まきもと」/「Veils」/「MIRRORLIAR FILMS Season2」/「MADE IN YAMATO」/「LOVE LIFE」/「GHOSTBOOK おばけずかん」/「DEATH DAYS」

## 1票

「タ方のおともだち」/「夜を走る」/「夜のスカート」/「名付けようのない踊り」/「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」  
「僕が一番好きだった人」/「破戒(2022)」/「峠 最後のサムライ」/「島守の塔」/「冬薔薇(ふゆそうび)」/「弟とアンドロイドと僕」/「貞子 DX」/「中村屋酒店の兄弟」/「池袋母子死亡事故「約束」から3年」/「啄む嘴」/「大河への道」/「前科者(2022)」/「川のながれに」/「石破茂・嫌われた正論 10人の証言」/「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」/「真・事故物件パート2 全滅」/「真・事故物件 本当に怖い住民たち」/「焼け跡クロニクル」/「終末の探偵」/「手(2022)」/「七人の秘書 THE MOVIE」/「私のはなし 部落のはなし」/「私だけ聴こえる」/「再会の奈良」/「今はちょっと、ついてないだけ」/「鋼の錬金術師 完結編 復讐者スカー」/「鋼の錬金術師 完結編 最後の錬成」/「激怒(2021)」/「愚か者のブルース」/「銀鏡 SHIROMI」/「吟ずる者たち」/「距ててて」/「牛久」/「宮松と山下」/「間借り屋の恋」/「我らは眠らない」/「仮面ライダーオーズ 10th 復活のコアメダル」/「映画 ゆるキャン」/「嘘喰い」/「雨の詩」/「異動辞令は音楽隊！」/「愛なのに」/「愛してる！」/「わたし達はおとな」/「わたしのお母さん」/「ラストサマーウオーズ(2022)」/「やがて海へと届く」/「ももいろクローバーZ アイドルの向こう側 特別上映版」/「ももいろクローバーZ アイドルの向こう側」/「モエカレはオレンジ色」/「メイヘムガールズ」/「ミラクルシティコザ」/「マンガガールズ」/「ホリック × × × HOLiC」/「ホラーちゃんねる 樹海」/「ホラーちゃんねる 事故物件」/「バーミリオン」/「の方へ、流れる」/「ナナメのろうか」/「とんび」/「ツククサ」/「ちょっと思い出しただけ」/「チェリまほ THE MOVIE 30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」/「さっちゃん最後のメッセージ 地下鉄サリン被害者家族の25年」/「さすらいのボンボンキャンディ」/「ザ・ミソジニー」/「グリーンバレット」/「グッバイ、ドン・グリーズ！」/「かぐや様は告らせたい ファーストキスは終わらない」/「カカリ 憑」/「いのち見つめて 高次脳機能障害と現代社会」/「ある惑星の散文」/「あの娘は知らない」/「あなたの微笑み」/「アクターズ・ショート・フィルム2」/「あいたくて あいたくて あいたくて」/「Still Dreamin' 布袋寅泰 情熱と栄光のギターズム」/「ONE PIECE FILM RED」/「OLD DAYS」/「Mr. Children「GIFT for you」」/「MIRRORLIAR FILMS Season4」/「MIRRORLIAR FILMS Season3」/「I AM JAM ピザの惑星危機一髪！」/「ALIVEHOON アライブフーン」/「AIM」/「42-50 火光(かぎろい)」/「20歳のソウル」

Q4.どういった状況であれば観に行けたと思いますか？(複数回答可)



その他記述内容:

もう少し仕事が早く終われば、ハラスメント加害をしたと思われる人物が関わっていなければ、見に行く気力があれば、気持ちの余裕があれば、朝8時-9時スタートの上映があればもっと行けるチャンスは増えると思います。夕方17時前後スタートも有難いです。

Q5,これまでの質問で補足で説明したい事や、別途ご意見があればご記入ください。(長文回答)

ご記入頂いた内容は、本映画賞の結果発表時にWEBサイト等で掲載させていただく可能性があります。  
ご了承の上ご記入ください。

- 01 ミニシアター系の作品など、上映期間が限られていたり、上映時間も朝早くやレイトショーになることが多いので、難しいと思うがもう少し長く、上映回数を増やしていただくと観にいかれる確率があがると思う
- 02 映画を観たい気持ちはあるものの、家事育児仕事に追われすぎて、物理的にも気持的にも実際に映画館に映画を観に行くというアクションを起こしづらいのが現実です。また、観たい映画の上映館と上映時間がマッチしないことも大きいです。映画に比べて舞台の方が、昼公演の場合は固定の場所で13、14時開始の設定がスタンダードなので、保育園のお迎えとの調整がしやすく観やすいなと感じます。
- 03 素朴な疑問として、試写会の時点で座席がほぼ男性なの何なんだろうな〜とよく思っております。作り手・伝え手の男女比率が是正されて初めて興行にも戻ってくるのかな、と。上司や先方とのコミュニケーションによるストレスが原因です。
- 04 高橋洋監督のザ・ミソジニーは女性蔑視、女性差別が問題視されている昨今の状況で公開され、正直タイトルで拒否反応をしまい見られなかった。ミソジニーと冠したタイトルで、現状業界で特権性のある男性監督の作品で、女性嫌悪がエンタメ消費されるのではないかと想像してしまい予告編やあらすじも目にしたくないほどだった。内容は見ていないので全く予想もつかないがme too運動が活発に行われていた状況でこのタイトルの映画を有名な監督が公開することに、この監督の業界に対する非当事者性意識を感じてしまい見られなかった。
- 05 上映関連の職業選択肢がその他しかないように思いましたが、上映関連の仕事のひとつも映画を見られないというジレンマを抱えているので今後同様の機会があれば細分化して実施してみても良いのかもしれない
- 06 結果が楽しみです！よろしく願いいたします
- 07 日々、現場と家の往復で精一杯で、いま何を上映しているのか調べる余裕もなかった。知らないタイトルがこんなにあったことが、ショックでした。
- 08 まだ余裕のある準備期間だとしても、帰りづらい雰囲気がある。
- 09 子供が土日はいるので、平日に行くにしても仕事の合間だと思うとなかなかいけない。
- 10 皆さん、一度ゆっくり自分の働き方を客観的にみてみてほしい。違う業界からきた私はこの世界に入った時、たくさんの違和感を感じていたけど、もう今は当時何を違和感としていたかも忘れてしまった。
- 11 忙しすぎると、映画の情報も得られなくなるし、「観たい」という気持ちもなくなっていく。定期的な休みは必要だなと思う

Q6,映画賞の投票結果はswfiのWEBサイトやSNSで発表します。メールでのお知らせをご希望の方はメールアドレスのご記入をお願いいたします。(短文回答)

6件の回答

## ◆主催団体概要

NPO 法人映画業界で働く女性を守る会

swfi (スウフィ) は、映画業界を「子供を育てながら働ける業界にしたい」「映画をつくるたのしさを実感でき、入りたい、続けたいと思える業界にしたい」という思いから誕生しました。

私達は、まず女性が抱える悩みや問題点をみんなで共有しながら、労働環境の改善を目指し、それにより女性だけに限らず、芸能・映像業界で働くあらゆるジェンダーの人が安心して働けるようになることを目標にしています。

映画やドラマなどの映像制作の世界は、夢があり、とても楽しいものです。

ですが、長時間労働、セクハラ、パワハラ。他の職業と同じく、沢山の課題を抱えています。しかし大半がフリーランスのスタッフで成り立っているこの業界では、労働組合のようなものもなく、周知された相談窓口や補償制度などがほぼありません。これらは女性だけではなく全てのジェンダーにとっても問題ですが、今の日本の映像業界では、子供ができて業界を去っていくのはほぼ女性です。業界に残ったとしても、今までのようには働けず、キャリアを活かせない、賃金を値切られる、、、そんな経験をするのも、女性が大半です。セクハラ、パワハラに悩んでも、周りからはそれがハラスメントだと認識されていない場合も多く、されている本人もハラスメントだと気づいていない場合もあります。

女性スタッフがどんどん増えている今、自分たちの置かれている状況を見つめて、意見交換ができる場をつくりたい。自分たちの心地の良い映像業界をつくっていきたい。

女性スタッフが安心して働き、安心して産休育休を取れるようになり、労働環境が改善されれば、女性だけでなくあらゆるジェンダーのスタッフが働きやすい、持続可能な世界になっていくはず、という思いで活動しています。

スタートアップメンバーは子育て中の女性スタッフに限らず、男性スタッフ、子供のいないスタッフ、妊娠を機に業界をやめた女性など多様なメンバーがおり、ジェンダー問わず賛同してくださるメンバーで活動を行っています。

## ◆活動内容

設立すぐに、「コロナ禍における芸能・映像業界で働くスタッフ・キャストへの影響実態調査」を実施。正会員登録者は、フリーランス協会の提供するベネフィットプランへの加入特典プランあり。

WEB サイト内での相談窓口の設置、気軽に意見交換ができるオンライン談話室を毎月開催、フリーランスで映像業界で仕事をするための心得とストレスチェック票を記載した「心得カード」の作成・配布、専門学校での講演など、働きやすい映像業界にするために、啓発活動を中心に行っています。

・団体名：特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会

Support for Women in the Film Industry.(swfi)

・URL : <https://swfi-jp.org>

・代表理事：SAORI

・設立日：2020年1月8日

・お問い合わせ：info@swfi-jp.org

